

DISPLAY PLATE HOLDER

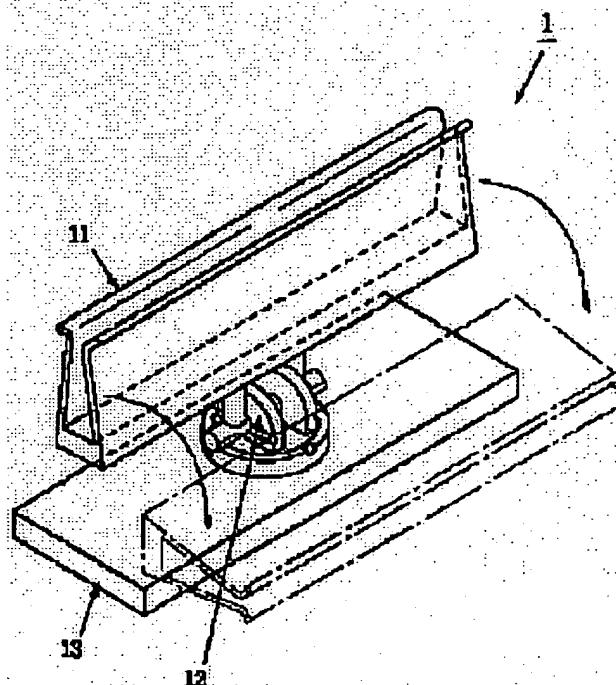
Patent number: JP8215404
Publication date: 1996-08-27
Inventor: KITAZAWA CHINYUU
Applicant: TOPURA KK
Classification:
- **international:** A63F7/02
- **europaen:**
Application number: JP19950029227 19950217
Priority number(s): JP19950029227 19950217

Report a data error here

Abstract of JP8215404

PURPOSE: To make sure installation regardless of the shape of a screen plate of each game machine and the spacing of game machines by furnishing a plate holding means capable of holding a display plate removably, and allowing thereby the display plate to rotate in any direction within the first and the second rotation plane relative to a base board.

CONSTITUTION: In each PACHINKO game machine, a display plate holder 1 is furnished to hold a display plate which contains a prescribed message, and a base board 13 provided with a hole is fast installed to or near the machine, and within the hole a coupling part 12 is pivoted, which is rotatable within the first rotation plane relative to the base board 13. A plate mounting part 11 having a holding part to removably hold the display plate is furnished rotatably within the second rotation plane perpendicularly intersecting the first rotation plane relative to the coupling part 12 and borne by the coupling part 12, and thereby the display plate can rotate in any direction within the first and second planes relative to the base board 13.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

BEST AVAILABLE COPY

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平8-215404

(43) 公開日 平成8年(1996)8月27日

(51) Int.Cl.⁶

A 6 3 F 7/02

識別記号

3 5 0

庁内整理番号

F I

A 6 3 F 7/02

技術表示箇所

3 5 0 Z

審査請求 有 請求項の数 5 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号

特願平7-29227

(22) 出願日

平成7年(1995)2月17日

(71) 出願人 595029484

株式会社トーブラ

大阪府東大阪市高井田中3丁目11番12号

(72) 発明者 北澤 裕雄

大阪府東大阪市中小阪5丁目4番3号

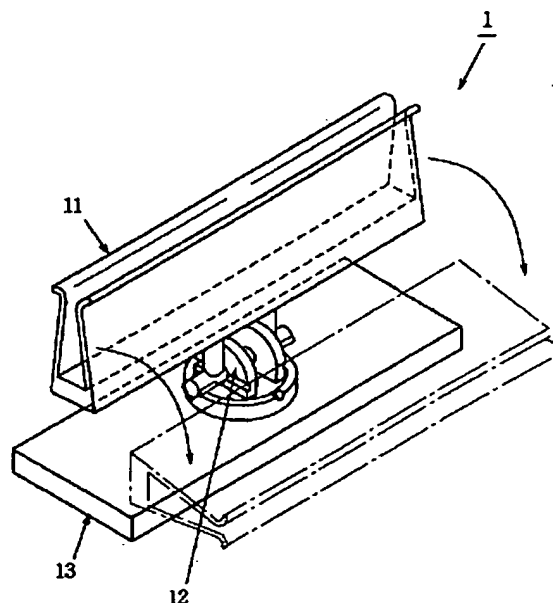
(74) 代理人 弁理士 小笠原 史朗

(54) 【発明の名称】 表示プレートホルダ

(57) 【要約】

【目的】 パチンコ遊戯場において使用される表示板ホルダにおいて、幕板の形状・貼付位置の広さ等に関わらず貼付することができる表示板ホルダを提供することである。

【構成】 表示板ホルダ1のプレート装着部11のヒンジ21は逆「T」字型であって、ヒンジ21の短尺部分21bを回転中心とする、水平方向（パチンコ遊戯機が設置されているフロアに対して）回動機構を構成し、かつ、連結部12に施された連結部嵌入溝31に、ヒンジ21の長尺部21aが嵌入したときプレート装着部11は固定される。また、連結部12は、連結部12の円形底面と、プレート装着部11のヒンジ21の短尺部21bとで基盤13の基盤部孔42を挟み込むことによって鉛直方向（パチンコ遊戯機が設置されているフロアに対して）回動機構を構成する。連結部12は、さらに逆「T」字型の連結部嵌入溝31を備えており、この連結部嵌入溝31に、プレート装着部11のヒンジ21の長尺部21aが嵌入したときプレート装着部11の回動は固定される。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 パチンコ遊戯機に関連して設けられ、所定のメッセージを記載した表示プレートを持保持するための表示プレートホルダであって、パチンコ遊戯機またはその近傍に固定的に取り付けられ、その一部に基盤部孔を有する基盤と、前記基盤部孔内において枢支され、前記基盤に対して第1の回動面内で回動可能な連結手段と、前記連結手段によって軸支され、当該連結手段に対して前記第1の回動面と直交する第2の回動面内で回動可能であり、かつ前記表示プレートを着脱自在に保持可能なプレート保持手段とを備え、それによって前記表示プレートが前記基盤に対して、第1および第2の回動面内のいずれの方向にも回動可能であることを特徴とする、表示プレートホルダ。

【請求項2】 前記連結手段は、前記基盤部孔とほぼ同一の半径を有し、かつ当該基盤部孔に嵌合される円形底盤と、前記円形底盤上に立設され、連結部孔を有する軸支部とを含み、前記プレート保持手段は、前記表示プレートを着脱自在に保持するプレート保持部と、前記プレート保持部に一体的に接合されるヒンジとを含み、前記ヒンジは、前記軸支部の連結部孔に嵌合されることによって前記保持部を前記連結手段に対して軸支させ、かつ前記基盤部孔の周縁上部に常時接することにより前記基盤からの前記連結手段の脱却を防止していることを特徴とする、請求項1に記載の表示プレートホルダ。

【請求項3】 前記基盤部孔の周縁上部には、ほぼ90°間隔で第1の溝が形成されており、前記プレート装着手段が前記連結手段と共に前記第1の回動面内で回動するとき、前記ヒンジが前記第1の溝に嵌合することにより、前記プレート装着手段がその位置で仮固定されることを特徴とする、請求項2に記載の表示プレートホルダ。

【請求項4】 前記ヒンジには、前記第1の溝に応じた突起が形成されていることを特徴とする、請求項3に記載の表示プレートホルダ。

【請求項5】 前記軸支部の所定の位置には、ほぼ90°間隔で第2の溝が形成されており、前記プレート装着手段が前記軸支部に対して前記第2の回動面内で回動するとき、前記ヒンジが前記第2の溝に嵌合することにより、前記プレート装着手段がその位置で仮固定されることを特徴とする、請求項2～4のいずれかに記載の表示プレートホルダ。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、表示プレートホルダに

関し、より特定的には、パチンコ遊戯機に関連したメッセージを記載した表示プレートを保持するための表示プレートホルダに関する。

【0002】

【従来の技術】周知のごとく、最近のパチンコ遊戯機は、遊戯中に所定の条件を満たすと（例えば、回転ドラムまたは液晶表示装置で表示される複数の絵柄が揃うと）、最大価値を付与する、いわゆるフィーバータップのものが増えている。従来、パチンコ店では、各パチンコ遊戯機の幕板に表示プレートホルダが設置されており、最大価値付与状態が発生すると、該当するパチンコ遊戯機の表示プレートホルダに最大価値付与状態が始まったことを表示するための表示プレートを挟み込むようにしていた。これは、各パチンコ遊戯機の状態を管理する意味と、最大価値を付与された顧客に満足感を与える意味とがある。

【0003】また最近では、女性の間でもパチンコが盛んになってきており、店内に女性専用のパチンコエリアを設けるパチンコ店も出現してきている。このようなパチンコ店では、各パチンコ遊戯機に設置されている表示プレートホルダに女性専用のパチンコ遊戯機であることを表示するための表示プレートを挟み込んでいる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上述したように、従来の表示プレートホルダは、通常、パチンコ遊戯機の幕板部に設けられている。しかしながら、この幕板は、パチンコ店によって様々な形状をしており、特に曲面をもつ幕板に従来の表示プレートホルダを貼付することは困難である。また、地域によって遊戯機間の間隔が異なるため、表示プレートホルダの基盤の大きさ・形状に制約を受けていた。

【0005】それ故に、本発明の目的は、遊戯機の幕板の形状、遊戯機間の間隔に関係なく、確実に設置することのできる表示プレートホルダを提供することである。

【0006】

【課題を解決するための手段】請求項1に係る発明は、パチンコ遊戯機に関連して設けられ、所定のメッセージを記載した表示プレートを保持するための表示プレートホルダであって、パチンコ遊戯機またはその近傍に固定的に取り付けられ、その一部に基盤部孔を有する基盤と、基盤部孔内において枢支され、基盤に対して第1の回動面内で回動可能な連結手段と、連結手段によって軸支され、当該連結手段に対して第1の回動面と直交する第2の回動面内で回動可能であり、かつ表示プレートを着脱自在に保持可能なプレート保持手段とを備え、それによって表示プレートが第1および第2の回動面内のいずれの方向にも回動可能であることを特徴とする。

【0007】請求項2に係る発明は、請求項1記載の発明において、連結手段は、基盤部孔とほぼ同一の半径を有し、かつ当該基盤部孔に嵌合される円形底盤と、円形

底盤上に立設され、連結部孔を有する軸支部とを含み、プレート保持手段は、表示プレートを着脱自在に保持するプレート保持部と、プレート保持部に一体的に接合されるヒンジとを含み、ヒンジは、軸支部の連結部孔に嵌合されることによって保持部を連結手段に対して軸支させ、かつ基盤部孔の周縁上部に常時接することにより基盤からの連結手段の脱却を防止していることを特徴とする。

【0008】請求項3に係る発明は、請求項1記載の発明において、基盤部孔の周縁上部には、ほぼ90°間隔で第1の溝が形成されており、プレート装着手段が連結手段と共に第1の回転面内で回転するとき、ヒンジが第1の溝に嵌合することにより、プレート装着手段がその位置で仮固定されることを特徴とする。

【0009】請求項4に係る発明は、請求項1記載の発明において、ヒンジには、第1の溝に応じた突起が形成されていることを特徴とする。

【0010】請求項5に係る発明は、請求項2～4記載の発明において、軸支部の所定の位置には、ほぼ90°間隔で第2の溝が形成されており、プレート装着手段が軸支部に対して第2の回転面内で回転するとき、ヒンジが第2の溝に嵌合することにより、プレート装着手段がその位置で仮固定されることを特徴とする。

【0011】

【作用】請求項1に係る発明では、表示プレートホルダをパチンコ遊戯機に取り付けられた表示プレートホルダのプレート装着部は、基盤に対して水平方向と垂直方向回転が可能となる。

【0012】請求項2に係る発明では、基盤の基盤部孔には、連結部の円形底盤部分が挿入されることによって、連結部は基盤に対して水平方向回転可能に嵌合される。しかも、ヒンジが軸支部の嵌合孔に嵌合すると同時に、基盤部孔にも接することになるため、連結部は水平方向回転しかできず、連結部が基盤から脱却することはない。

【0013】請求項3に係る発明では、連結部の基盤に対する水平方向回転に伴って、基盤部孔の周縁上部に形成された第1の溝に、ヒンジが嵌入する。このときヒンジは、嵌入位置にて仮固定され、プレート装着部もその位置で仮固定される。

【0014】請求項4に係る発明では、ヒンジは、基盤部孔との接触部に基盤嵌入溝に応じた突起を含む。この突起が基盤嵌入溝に嵌入したとき、この嵌入位置において、プレート装着部はさらに固定される。

【0015】請求項5に係る発明では、プレート装着部の基盤に対する垂直方向回転に伴って、軸支部に形成された第2の溝に、ヒンジが嵌入する。このときヒンジは、嵌入位置にて仮固定され、プレート装着部もその位置で仮固定される。

【0016】

【実施例】図1は、本発明の第1の実施例に係る表示プレートホルダの斜視図である。図1において、表示プレートホルダ1は、プレート装着部11と、連結部12と、基盤13とを備えている。

【0017】図2は、図1におけるプレート装着部11の分離した状態を示しており、特に、(a)はその正面図、(b)はその側面図である。図2において、プレート装着部11は、表示プレートを挟み込んで保持するための略「U」字状の保持部20と、この保持部20の底部に一体的に設けられた1対のヒンジ21とを備えている。プレート装着部11は、ヒンジ21によって連結部12と連結される。各ヒンジ21は、長尺部（非回転軸部）21aと、それと直交する短尺部（回転軸部）21bとから成る、逆「T」字状に形成されている。各ヒンジ21の長尺部21aの先端は、保持部20と接合されている。また、各ヒンジ21の短尺部21bの内側端は、連結部12に嵌合しており、当該嵌合部分を回転中心として回転可能な構成となっている。各ヒンジ21の短尺部21bの外側端の外周には、半径方向に突出する突起22が3カ所に形成されている。

【0018】図3は、図1における連結部12の分離した状態を示しており、特に、(a)はその正面図、

(b)はその側面図である。図3において、連結部12は、上部に小半径円盤30bを、下部に大半径円盤30aを接合した異なる半径を有する2つの円盤から構成される円形底盤30と、この円形底盤30の上面に互いに平行に対向するように設けられた1対の舌片31とから成る。各舌片31は、略半円状に形成されており、それぞれの外側面には、3本の嵌入溝32a～32cが刻印されている。嵌入溝32aは、円形底盤30に対して直交する方向に延びている。嵌入溝32b、32cは、円形底盤30に平行、すなわち嵌入溝30aと直交する方向に延びている。また、これら嵌入溝32a～32cの交点部分には、上述したヒンジ21の短尺部21bと嵌合させるための嵌合孔33が設けられている。

【0019】図4は、図1における基盤13の分離した状態を示しており、特に、(a)はその正面図、(b)はその側面図である。図4において、基盤13は、本表示プレートホルダ1を両面粘着テープ等でパチンコ遊戯機の幕板に貼付するための長方形の基盤41と、連結部12の円形底盤30の大きさに対応した基盤部孔42と、装着部台座43とから成る。基盤部孔42は、基盤41の対角線の交点を中心にもつ2つの円孔であって、基盤13の裏面側に設けられる基盤下部孔42aと、基盤13の表面に設けられる基盤上部孔42bとから成る。基盤下部孔42aの半径および高さは、上述した大半径円盤30aの半径および高さに対応し、基盤上部孔42bの半径および高さは、上述した小半径円盤30bの半径および高さに対応している。装着部台座43は、基盤上部孔42bと同一の内半径および適当な外半径を

もつリング状の台座であって、リング中心から基盤４１の各辺の垂直方向に突起２２の形状に応じた基盤部嵌入溝４４が彫刻されている。ここで、基盤４１の形状を長方形と記載しているが、これに限定せず円形でも良いし、正方形でも良い。

【００２０】上述したような、構成部品をもつ表示プレートホルダ１は、図１に示すように組み立てられる。基盤部孔４２に連結部１２を挿入する。これによって、連結部１２は、基盤部孔４２を中心とする回動が可能となる。また、基盤上部孔４２ｂと小半径円盤３０ｂ、そして基盤下部孔４２ａと大半径円盤３０ｂとが、それぞれ同一半径であって、かつ前者の方が小半径であることから基盤部１３の表面方向への脱却が不可能となる。このような状態において、プレート装着部１１のヒンジ２１の短尺部２１ｂの両内端部分を連結部１２の嵌合孔３３に嵌合させることによって当該嵌合孔３３を回転中心とする回動が可能となる。プレート装着部１１は、上述したように連結部１２が基盤部孔４２を中心とする回動が可能のため、それに同期して基盤部孔４２を回転中心とする回動が可能になる。また、上述した嵌合と同時に、ヒンジ２１の短尺部２１ｂの両外端は装着部台座４３に接するようになる。これによって、連結部１２が、基盤１３の裏面方向へ脱却することが不可能になる。

【００２１】図５は、本発明の第１の実施例に係る表示プレートホルダの一使用例（平面形状をもつ、あるいは幅が十分な幕板）を表す図である。基盤１３の裏面に貼付された両面粘着テープ等でパチンコ遊戯機に基盤１３の長辺方向が垂直になるように表示プレートホルダ１は、貼付される。一般的に、この貼付方法は、表示プレートを確実に保持するように、基盤１３の裏面の貼付面積が広くするように貼付する。このとき、予めプレート装着部１１には、「大当たり」等と描かれた表示プレートが挟み込まれている。

【００２２】図５において、特に（ａ）は、通常の遊戯機継続中の表示プレートが倒された状態にあるときの表示プレートホルダ１を表す図である。このとき、ヒンジ２１の両短尺部２１ｂと、長方形の長辺に平行な２つの基盤部嵌入溝４４との位相が一致し、さらに突起２２が、当該基盤部嵌入溝４４に嵌入することによって、表示プレートが自重によって落ち込まないようにしている。また、ヒンジ２１の長尺部２１ａが、嵌入溝３２ｃに嵌入することによって、表示プレートが倒れた状態を維持する。

【００２３】図５において、特に（ｂ）は、パチンコ遊戯機が最大価値付与状態になったとき、パチンコ遊戯店の店員が表示プレートを起こしたときの表示プレートホルダ１を表す図である。このとき、ヒンジ２１の両短尺部２１ｂと、長方形の長辺に平行な２つの基盤部嵌入溝４４との位相が一致しているが、表示プレートが当該ヒンジ２１の短尺部２１ｂを回転中心に９０°回転する。

それに応じて９０°位相のずれた突起２２が、当該基盤部嵌入溝４４に嵌入する。あわせて、ヒンジ２１の長尺部２１ａが、嵌入溝３２ａに嵌入することによって、表示プレートが表示状態を維持する。

【００２４】図６は、本発明の第１の実施例に係る表示プレートホルダの一使用例（幕板が曲面形状をもつ、あるいは幕板の幅が不十分な幕板）を表す図である。基盤部１３の裏面に貼付された両面粘着テープ等でパチンコ遊戯機に基盤１３の短辺方向が垂直になるように表示プレートホルダ１は、貼付される。図６に示すように幕板が曲面形状をもつ場合、貼付面積を広く採ることができるように上記のように貼付する。当然のことながら、幕板の幅が不十分な場合も上記のように貼付する。このとき、予めプレート装着部１１には、「大当たり」等と描かれた表示プレートが挟み込まれている。

【００２５】図６において、特に（ａ）は、通常のパチンコ遊戯機継続中の表示プレートが倒された状態にあるときの表示プレートホルダ１を表す図である。このとき、ヒンジ２１の両短尺部２１ｂと、長方形の短辺に平行な２つの基盤部嵌入溝４４との位相が一致し、さらに突起２２が、当該基盤部嵌入溝４４に嵌入することによって、表示プレートが自重によって落ち込まないようにしている。また、ヒンジ２１の長尺部２１ａが、嵌入溝３２ｃに嵌入することによって、表示プレートが倒れた状態を維持する。

【００２６】図６において、特に（ｂ）は、パチンコ遊戯機が最大価値付与状態になったとき、パチンコ遊戯店の店員が表示プレートを起こしたときの表示プレートホルダ１を表す図である。このとき、ヒンジ２１の両短尺部２１ｂと、長方形の短辺に平行な２つの基盤部嵌入溝４４との位相が一致しているが、表示プレートが当該ヒンジ２１の短尺部２１ｂを回転中心に９０°回転する。それに応じて９０°位相のずれた突起２２が、当該基盤部嵌入溝４４に嵌入する。あわせて、ヒンジ２１の長尺部２１ａが、嵌入溝３２ａに嵌入することによって、表示プレートが表示状態を維持する。

【００２７】図７は、本発明の第２の実施例に係る表示プレートホルダの斜視図である。図７において、図１と同様の部分には、同一の参照番号を付し、詳細な説明を省略する。図７において、基盤７１は、装着部１１を２つ装着できるような構成をもつ。その他の構成は基盤１３と同一である。パチンコ遊戯機の幕板の形状が平面であって広さが十分である場合、２通りの表示が可能となる。この第２の実施例に係る表示プレートホルダは、基本的には、幕板が平面形状をもち、かつ、幕板の幅が十分なものに対応する。基盤１３の裏面に貼付された両面粘着テープ等でパチンコ遊戯機に基盤７１の長辺方向が垂直になるように表示プレートホルダ１は、貼付される。このとき、予めプレート装着部１１には、例えば「大当たり」、「連続中」等と描かれた表示プレートが

挟み込まれている。使用方法は、第1の実施例に係る表示プレートホルダと同様であって、2通りの表示が可能となるため、最大価値付与状態に入ったときには「大当たり」の表示プレートを表示し、また最大付与状態が何回も続いた場合「連続中」の表示プレートが表示される。すなわち、パチンコ遊戯機の状態に応じた表示がなされる。なお、図7においては、最大価値付与状態に入った状態であって、「大当たり」と描かれた表示プレートが表示状態になって、まだ、「連続中」と描かれた表示プレートは非表示状態である。

【0028】

【発明の効果】請求項1の発明によれば、表示プレートホルダのプレート装着部11は、基盤13の裏面に両面粘着テープ等でパチンコ遊戯機の幕板に貼付することによって、2方向（表示プレートホルダの基盤13に対して垂直および水平方向）の回転が可能となる。これによって、パチンコ遊戯機も幕板に対して最も貼付面積の広い貼付方法を採用することができる。すなわち、様々な幕板の形状をもつパチンコ遊戯機に表示プレートを貼付することができる。

【0029】請求項2の発明によれば、基盤13の基盤部孔42には、連結部12の円形底盤30が挿入される。同時に、ヒンジ21も基盤部孔42の上部に接するような構成を採っている。これによって、連結部12は水平方向回転しかできず、連結部12が基盤13から脱却することはない。

【0030】請求項3に係る発明では、連結部13の基盤に対する水平方向回転に伴って、プレート装着部11の両ヒンジ短尺部21bが、向かい合う基盤部嵌入溝44に嵌入する。これによって、表示プレートホルダ1のプレート装着部11は、表示プレートの自重等によって水平方向に対して回転しないように固定される。

【0031】請求項4の発明によれば、プレート装着部11の2つのヒンジ21の外端部分それぞれに突起22を備える。ヒンジ21の突起22と、基盤部嵌入溝44とが同位相になったとき、プレート装着部11は固定される。これによって、プレート装着部11は、さらに固定がよくなる。

【0032】請求項5の発明によれば、プレート装着部

11の基盤に対する垂直方向回転に伴って、当該プレート装着部11の両ヒンジ長尺部21bは、連結部嵌入溝32に嵌入する。これによって、表示プレートホルダ1は、表示プレートを表示状態もしくは非表示状態に固定して表示することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施例に係る表示プレートホルダの斜視図である。

【図2】図1において、第1の実施例に係る表示プレートホルダのプレート装着部11の分離した状態を示す図である。

【図3】図1において、第1の実施例に係る表示プレートホルダの連結部12の分離した状態を示す図である。

【図4】図1において、第1の実施例に係る表示プレートホルダの基盤13の分離した状態を示す図である。

【図5】本発明の第1の実施例に係る表示プレートホルダの一使用例（平面形状をもつ、あるいは幅が十分な幕板）を表す図である。

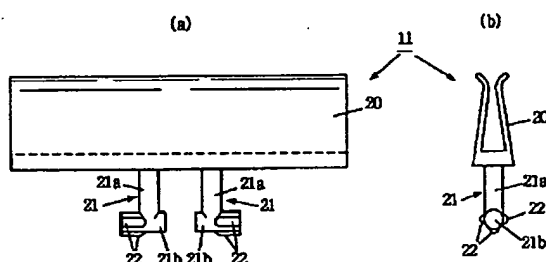
【図6】本発明の第1の実施例に係る表示プレートホルダの一使用例（幕板が曲面形状をもつ、あるいは幕板の幅が不十分な幕板）を表す図である。

【図7】本発明の第2の実施例に係る表示プレートホルダの斜視図である。

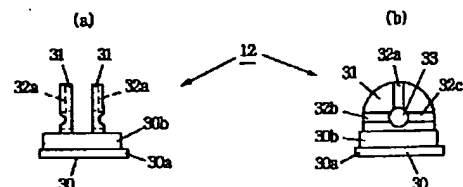
【符号の説明】

- 1…表示プレートホルダ
- 11…プレート装着部
- 12…連結部
- 13…基盤
- 21…ヒンジ
- 22…突起
- 30…円形底盤
- 31…舌片
- 32…連結部嵌入溝
- 33…嵌入孔
- 41…基盤
- 42…基盤部孔
- 43…台座
- 44…基盤部嵌入溝

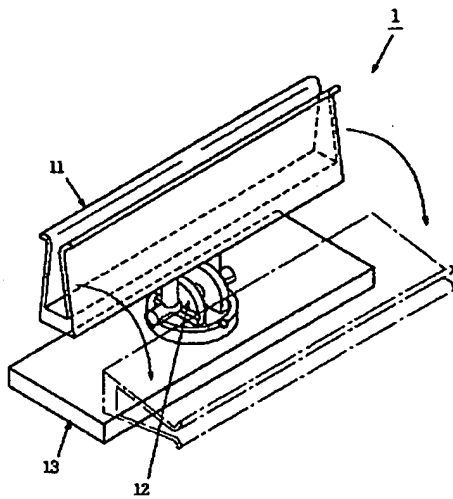
【図2】



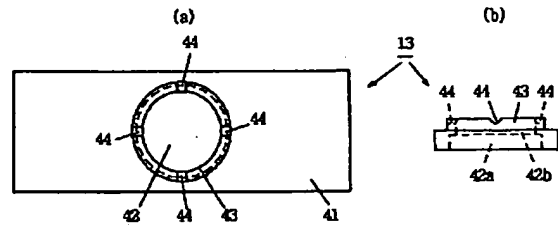
【図3】



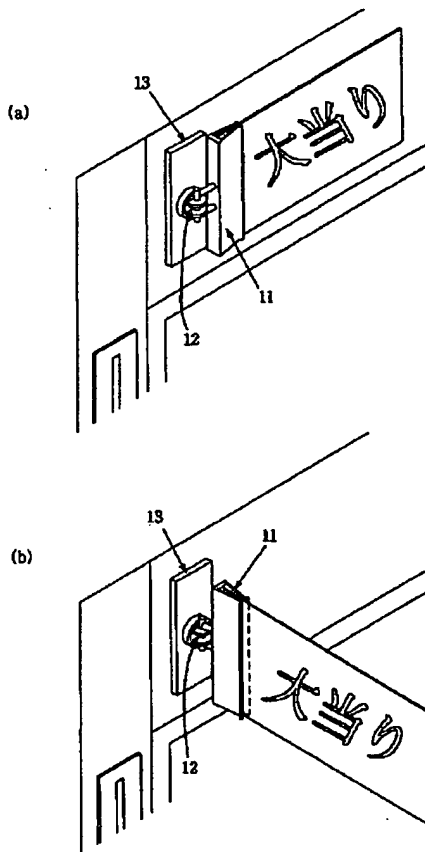
【図1】



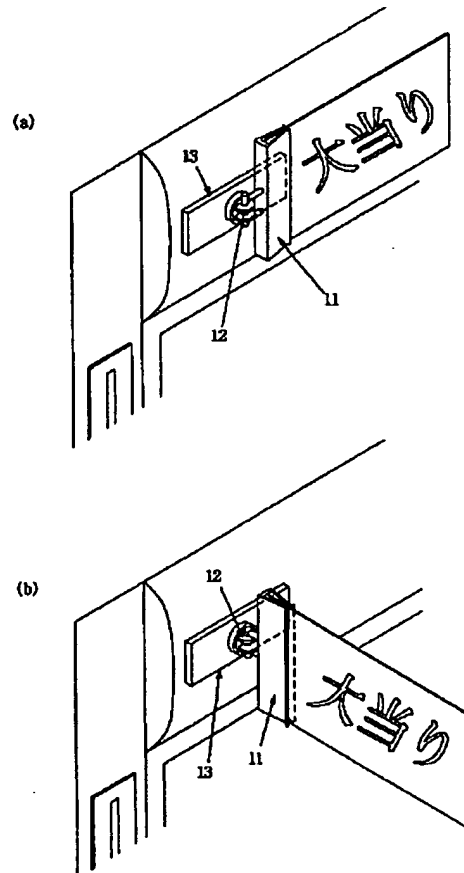
【図4】



【図5】

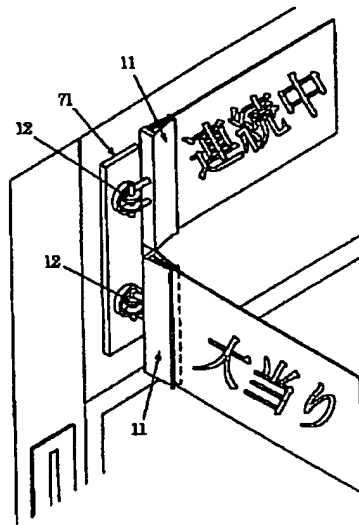


【図6】



BEST AVAILABLE COPY

【図7】



BEST AVAILABLE COPY